

病害虫防除技術情報第 10 号

平成 23 年 9 月 12 日

三重県病害虫防除所

ハスモンヨトウ第 2 報・防除適期は 9 月第 3 週と予想されます。

白変葉の発生状況を確認し、早期防除を行ってください。

1. 対象作物：ダイズ・野菜類（イチゴ・アブラナ科野菜等）
2. 対象病害虫名：ハスモンヨトウ
3. 発生状況

1) 巡回調査圃場（9月第2週）では、ダイズにおける白変か所数は 0.2 個/a（平年 4.2 個/a）、葉食害度は 0.1（6 年平均 6.1）と、平年に比べて少ない状況ですが、一部圃場では孵化直後の若齢幼虫による食害が確認されました。また、イチゴ（子苗）における寄生株率は 0.7%（平年 0.4%）とやや多く、若齢幼虫による食害が目立つ圃場がありました。

2) フェロモントラップ（8月第6半旬～9月第1半旬・松阪市嬉野川北町）では、誘殺数は 316 頭（平年 314.3 頭）と平年並の状況です。しかし 9 月に入って急増しており、今後 10 月にかけて最も発生の多い時期となるため、例年発生の多い地域では注意が必要です（図）。津アメダス気温データを元に、次世代の若齢幼虫の発生時期を予測したところ、9 月 11 日から 18 日ごろと予想されました。

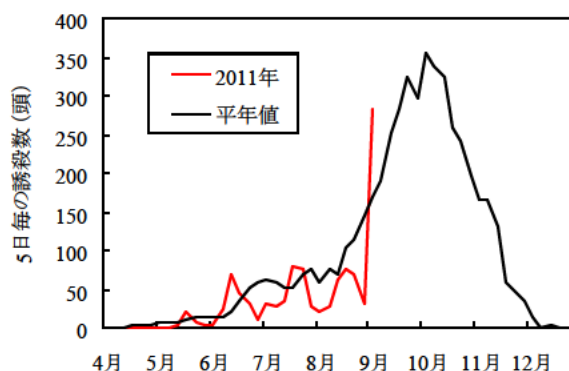


図 フェロモントラップによるハスモンヨトウ成虫の誘殺消長(松阪市嬉野川北町)

4. 防除対策

- 1) 圃場を見回り、白変葉が確認されたらすぐに防除を行ってください。
- 2) 防除適期は若齢幼虫期です。摘葉や捕殺、薬剤防除は若齢幼虫が分散する前に行ってください。
- 3) 薬剤防除するときは葉裏にかかるよう、丁寧に散布してください。老齢幼虫に対しては防除効果が劣ります。
- 4) 野菜では、育苗中の苗床や定植直後に発生すると被害が大きいため、こまめに見回り、発生初期の防除に努めてください。
- 5) 施設では、ハウスパイプや換気口周辺などの資材にも産卵するので、注意してください。
- 6) 薬剤防除を行う際は、周辺作物の栽培状況に留意し、周辺圃場へのドリフト防止に努めましょう。